

リージョナルフィッシュ株式会社



- 所在地：京都府京都市
- 従業員：45名
- 会社設立年：2019年
- 事業内容：①ゲノム編集等による水産物の品種改良事業、②水産物の生産・販売

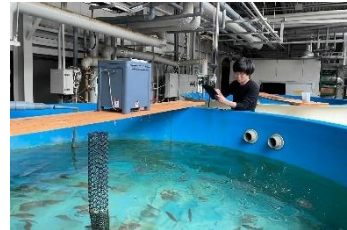
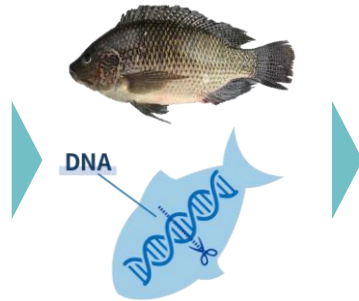
<https://regional.fish/>

プロジェクト名

- タイにおけるティラピアの超高速品種改良に係る実証事業

現地企業や政府との協力・連携

- 現地パートナー：SPM Feedmill Co., Ltd.
- 協力・連携の内容：研究開発施設の設営場所の提供、研究開発活動に係る資材調達・オペレーション等の支援



現地の経済・社会課題

- 世界的なタンパク質需給の逼迫に対し、タイの主要タンパク質源であるティラピアの養殖生産量は長らく横ばいに留まっている。
- タイの労働人口の約3割が農業・食品産業に従事するが、GDPへの貢献度は約6.3%に留まる。産業高度化に向けた国家ビジョン「タイランド4.0」や「バイオ・循環型・グリーン（BCG）経済モデル」の実現に向け、水産物の生産性向上・高付加価値化が求められている。

実証内容

- 従来の方法では約30年を要する品種改良を、外来遺伝子を導入することなく、狙った遺伝子をピンポイントで変異させることで、わずか数年で完了できる「ゲノム編集育種」をタイ国で実証する。
- 当社は、京都大学・近畿大学の研究成果を基盤とした技術力と、世界で初めて（現状は唯一）ゲノム編集魚の商用化に成功した実績を持つ。
- 本技術・経験を総動員することで、タイ国におけるティラピアの高成長品種の開発と、高密度養殖システムの展開を行う。

期待される裨益効果

- ティラピアの高成長品種の開発により成長速度・飼料効率を改善し、単位面積あたりの粗利を約3倍に、さらに高密度養殖システムと併用することで約6倍に引き上げることが可能と見込める。
- 本実績をベースとして、他魚種（シーバス、海産魚、エビ類等）や他特性（病気耐性、旨み/栄養成分増強等）への展開を目指す。
- タンパク質不足の解消や養殖業者の収益性改善は勿論、輸出製品の強化や、新規参入・周辺産業の活性化による雇用創出等も期待できる。